

## 【生命現象から人間社会を学ぶ】～『人体は宇宙を内包している』～

2025年12月21日午前 wife と『KBF in CAJ』に出席した。『クリスマスソング』を熱唱された。『ルカによる福音書2章』は、【1-7節がイエス誕生の出来事、8-20節が羊飼いたちへの天使の告知と幼子訪問】である。『馬小屋に生まれたイエスを、最初に祝いに駆けつけたのが羊飼い』であったのは、不思議である。これは、『医療 & 教育の原点』ではなかろうか!?

一人の細胞数は幾らであろうか？人の体は一個の受精卵から出発し、その後 細胞分裂を繰り返し、『ヒトの細胞数は37兆個』と推定された論文が出されているようである。細胞一つ一つにはDNAがある。一つの細胞の大きさは約20ミクロン。細胞の核に中には染色体があり、染色体上には遺伝子がある（細胞分裂の際、遺伝子情報がコピーされる）。遺伝子 = 一個のアミノ酸を構成するのは四つの塩基（a、t、g、c）の3つ配列。人間には約3万個の遺伝子があると言われている。人間の臓器・組織は200種類で、世界の国・民族と、同じ数であろうか！？【臓器・組織のいたわりは、世界平和の学び】となろう！

小さな細胞1つ1つの中にあるDNAの長さを計算すると約2mで一人当たりのDNAの長さは1200億キロであろうか？まさに太陽系（約100億キロ）を内包する。『人体は宇宙を内包している』とも言える。

DNAは38億年前から5000万以上の種を生み出してきたのに、別のものに置き換えられたことはない。子どもたちにも教えてあげたいものである。そうすれば、もっと自分を大切に思えるかもしれない。まさに、【生命現象から人間社会を具象的に学ぶ】であろう！

夕食はwifeが、娘、息子家族、友人を自宅に招待して、夕食会の時を持った。今回筆者が、アメリカのFox Chase Cancer CenterのKnudson博士（1922-2016）の下で『遺伝性腫瘍』を学んだ時（1989-1991）、Fox Chase Cancer Centerに留学されていて帰国後、東京大学大学院教育学研究科教授に就任された小児科医師衛藤隆先生ご夫妻も来られた。大変、有意義なユーモア溢れる充実した貴重なクリスマス会となった。